

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	035							
事務事業名	出産祝金支給経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	03	項	02	目	01	事業	04
担当部	保健福祉部	担当課	子ども課	担当係														
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市子ども・子育て支援事業計画)			根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市出産祝金支給条例施行規則, 常総市出産祝金支給条例)											

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。										
現状課題	新生児が生まれた家庭に出産祝金を支給することにより、次代を担う児童の誕生を祝福するとともに、児童の健全な育成を促し、もって福祉の増進に資することを目的として行っているが、年々出生児童数は減少傾向にある。										誰・何を対象に 新生児の保護者									
	どのような方法・手順で 出産祝金の支給を受けようとする者(住民基本台帳に記載された後、引き続き6ヶ月以上本市に住所を有する者。外国人の永住者・特別永住者)は出産の翌日から起算して90日以内に市長に申請する。受理した申請書は内容を調査(市税の滞納調査等)し、祝金(第1子5千円、第2子1万円、第3子以降2万円)を申請者に支給する。										望ましい状態 出産祝金支給事業が市民の方にとって魅力的な事業計画とされ、今後、常総市で子どもを産み育てていきたいと思えるような少子化対策事業となる。									

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。									
指標名	出生数	単位	人	目標値	400	目標年次	令和7	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由) 出生数の減少が進む現状の中、安心して常総市で子どもを産み育てていきたいと思える環境を整え、定住促進にも繋がっていく事業とする。活動量は対象者に対しての件数の為目標値の数値とは合致しない。										

4 事務事業の実績 ㉑										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。											
年度	平成28年度				平成29年度				平成30年度												
	業務名				業務名				業務名												
	活動量				活動量				活動量												
	①	出産祝金請求者の申請・受付			368件	①	出産祝金請求者の申請・受付			334件	①	出産祝金請求者の申請・受付			311件						
	②	出産祝金申請者の審査			368件	②	出産祝金申請者の審査			334件	②	出産祝金申請者の審査			311件						
	③	出産祝金申請者への決定・通知			368件	③	出産祝金申請者への決定・通知			334件	③	出産祝金申請者への決定・通知			311件						
	④	出産祝金支給決定者への支給			344件	④	出産祝金支給決定者への支給			294件	④	出産祝金支給決定者への支給			311件						
	⑤					⑤					⑤										
	⑥					⑥					⑥										
	⑦					⑦					⑦										
	⑧					⑧					⑧										
	⑨					⑨					⑨										
	⑩					⑩					⑩										
⑪					⑪					⑪											
⑫					⑫					⑫											
目標値に対する実績値				441	人	目標値に対する実績値				385	人	目標値に対する実績値				383	人				
決算額	計	3,479,000	円	内訳	特定財源	0	円	計	2,894,000	円	内訳	特定財源	0	円	計	2,848,700	円	内訳	特定財源	0	円
					一般財源	3,479,000	円					一般財源	2,894,000	円					一般財源	2,848,700	円
						(住民一人あたりの行政コスト)	57	円					(住民一人あたりの行政コスト)	48	円					(住民一人あたりの行政コスト)	47

5 担当者評価 ㉒										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標未達成	出産祝金の制度が広報等で周知されてきていて、申請自体は漏れなく受け付けている。出生数は、平成26年度以降緩やかな減少が続いている。緩やかな減少の中で却下数が多く支給件数との差が大きくなる年もある。																	
	内容																		
問題点	常総市で、子どもを産み育てたいと思ってもらえるような事業としては、金額的な魅力が薄いと感ずる。今後本市で出産し子育てをしたいと思っただけ、少子化対策から定住促進にも繋がるような金額も含めた施策の検討が必要。																		

7 実施計画 ㉓										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。												
年度	令和元年度				令和2年度				令和3年度													
	事業内容				事業内容				事業内容													
	● 出産祝金請求者の申請・受付 ● 出産祝金申請者の審査 ● 出産祝金申請者への決定・通知 ● 出産祝金決定者への支給 ※扶助費:3,150,000円 第1子:130人×5,000円=650,000円 第2子:126人×10,000円=1,260,000円 第3子以降:62人×20,000円=1,240,000円 消耗品費:9000円				● 出産祝金請求者の申請・受付 ● 出産祝金申請者の審査 ● 出産祝金申請者への決定・通知 ● 出産祝金決定者への支給 ※扶助費:3,000,000円 第1子:130人×5,000円=650,000円 第2子:125人×10,000円=1,250,000円 第3子以降:55人×20,000円=1,100,000円 消耗品費:9000円				● 出産祝金請求者の申請・受付 ● 出産祝金申請者の審査 ● 出産祝金申請者への決定・通知 ● 出産祝金決定者への支給 ※扶助費:3,250,000円 第1子:138人×5,000円=690,000円 第2子:128人×10,000円=1,280,000円 第3子以降:64人×20,000円=1,280,000円 消耗品費:9000円													
成果指標	指標名	出生数	単位	人	目標値	385	指標名	出生数	単位	人	目標値	388	指標名	出生数	単位	人	目標値	390				
	予算額	歳出	計				3,421	千円	歳出	計				3,273	千円	歳出	計				3,259	千円
		歳入	特定財源				0	千円	歳入	特定財源				0	千円	歳入	特定財源				0	千円
	一般財源				3,421	千円	歳入	一般財源				3,273	千円	歳入	一般財源				3,259	千円		
	計				3,421	千円	歳入	計				3,273	千円	歳入	計				3,259	千円		

6 担当部長及び担当課長評価 ㉔										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由										少子化対策については、市民ニーズの高い施策を今後検討することとし、現事業については現行通りとした。									

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017~2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。ただし、祝金の金額と出生数の減少は関連性が薄く、少子化対策の抜本的な改革が望まれる。現金支給だけでなく、地域全体で子育てできる環境づくりや支援策を整えて欲しい。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕																			
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由										本事業は、次代を担う児童の誕生を祝福するとともに、児童の健全な発育を促し、もって福祉の増進に資することを目的としている。しかし、今後、子育て施策全体事業を少子化対策としての位置づけを明確化するためにも事業全体の見直しを行い、本事業においても内容の改善検討は必要である。									

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉖										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容										出生数の増加を目指し、少子化対策から定住促進と市における現状の課題がつながって改善されていけるような金額面だけではなく事業自体の見直しを検討する。									